



～夢・未来へ～
町民と議会をつなぐ

第93号

令和4年4月20日

河津町議会だより



QRコード

今年のごとピックアップ	2～3
予算審査特別委員会	4～5
令和4年第1回定例会	6
常任委員会活動	7
一般質問	8～11
河津町議会議員定数等調査特別委員会	12～14
読者アンケート	15
一部事務組合	16
議員説明会・私も一言	17
議会の動き・編集後記	18

一般会計予算 しごと アップ

新小学校統合事業

事業内容

3小学校の統合に向けて、施設修繕やスクールバス4台(29人乗り3台、14人乗り1台)を購入し、小学校の教育環境整備を行います。

新規 予算額5082万円



河津町立河津小学校 校章

水産業振興事業

事業内容

河川の稚魚放流(鮎・アマゴ・うなぎ)海は真鯛の稚魚放流とアワビの稚貝放流を実施するために、漁業経営振興会へ補助を行います。

継続 予算額596万円



稚魚放流(河津川)

文化の家長寿命化改修工事

事業内容

経年劣化による老朽化対策として文化の家を大規模な改修工事により長寿命化をはかります。

新規 予算額4645万円



町立文化の家

令和4年度 今年の ピック

証明書

コンビニ交付 導入事業

事業内容

これまで役場窓口のみで発行していた住民票や各種証明書を、**マイナンバーカード**があれば全国のコンビニエンスストアでも発行が可能となります。
※令和5年1月から

新規 予算額385万円



新型コロナウイルス感染症 対応経済対策事業

事業内容

商工会が実施する**プレミアム商品券**発行事業や受注機会拡大対策事業への補助を行います。その他、小規模事業者が実施する誘客促進等をはかるための小規模修繕等の補助を行います。

新規 予算額4313万円



捕獲された鹿

鳥獣害等対策事業

事業内容

有害鳥獣対策協議会に対する補助
猪・鹿駆除報奨金の支給（1頭5,000円）
猿駆除報奨金の支給（1頭22,000円）
狩猟免許取得費用の一部補助
新規に**鳥獣被害防止対策業務支援委託**等を行います。

継続 予算額1708万円



令和3年度のプレミアム商品券

河津町議会予算審査特別委員会

令和4年度河津町一般会計予算 43.9億円 可決

令和4年3月9日～16日までの8日間、遠藤嘉規議員を委員長として全議員による河津町議会予算審査特別委員会を編成し、各課に説明を求め活発な質疑（全221項目）を行った。

令和4年度河津町一般会計予算

令和4年度河津町土地取得特別会計予算

令和4年度河津町介護保険特別会計予算

令和4年度河津町水道事業会計予算

令和4年度河津駅前広場整備事業特別会計予算

令和4年度河津町国民健康保険特別会計予算

令和4年度河津町後期高齢者医療特別会計予算

令和4年度河津町温泉事業会計予算

5ページの意見とともに原案のとおり可決した。主な質疑は次のとおり。



長野地区の取得予定地



取得予定地視察

◎山脇学園所有地取得事業

2516万円

Q. 購入後の計画は。

A. 地域の広域避難場所、集会所機能、分団統合による詰所機能などを計画している。

◎防災対策事業

1861万円

Q. 災害時の食料の備蓄はどのくらいあるのか。

A. 1週間分、3万8000食を確保している。

◎非常備消防事務事業

3143万円

Q. 事業費の増額理由は。

A. 7分団の施設修繕に伴うもの。

◎証明書コンビニ交付導入事業

385万円

Q. 証明書の想定発行数は。

A. 月に30件を想定している。

◎し尿処理対策事業

7134万円

Q. 増額の理由と改修期間の対応について。

A. 長寿命化の負担金の増額。令和4～5年度に改修計画を実施予定、関係者で協議を進めていく。

◎行政情報システム保守委託料

6546万円



電算室視察

Q. システム保守委託料はどのような役割をしているのか。

A. 基幹系、情報系、庁内LAN、公共団体専用接続など各種接続別としている。各システムを安定稼働させるための維持管理等の役割がある。

◎子育て支援施設運営事業

1147万円

Q. 災害時の子育て世帯の避難対応について防災課との調整は。

A. 近年の災害時などの実績を踏まえ調整を進めていく。

◎新型コロナウイルスワクチン接種事業

2773万円

Q. 接種事業の来年度以降の予定は。

A. 令和4年度は3回目接種分を想定しているが1、2回目未接種や5歳から11歳児分も含まれる。

◎景観計画策定事業

548万円

Q. どのような景観に対して計画するのか。

A. 町内の守りたいものなどの調査から素案を作り、住民の意見を求める。開発行為の抑止や街並み景観の規制をするもの。

◎鳥獣害対策事業

1708万円

Q. 鳥獣害対策の委託料は。

A. 令和4年度に猟友会、町、地域おこし協力隊で新団体を作り委託する予定。

◎海岸保全施設維持管理事業

8897万円



見高ベロバ海岸嵩上げ工事

Q. 海岸保全長寿命化の対象は。

A. ベロバ海岸の護岸堤の嵩上げ工事。

◎地域活性化事業

50万円

Q. 地域少子化対策重点推進交付金(歳入)の使用用途は。

A. ふじのくに出会いサポートセンターと連携して婚活イベントを実施する。

◎新小学校統合事業

5082万円

Q. 什器、備品などへの考え方は。

A. 什器、備品は各学校で洗い出しを実施した。継続して使用できる備品等を選別し、再利用や不足分の購入を検討する。

◎生徒児童用パソコン更新事業

1123万円

Q. タブレットPC更新事業とは。

A. 旧型のタブレットPC90台の更新と自宅での充電用のアダプタの購入事業。

特別委員会意見

- 1) 長期にわたるコロナ禍で疲弊した経済状況を鑑み、町独自の対策を積極的に実施されたい。
- 2) 伊豆縦貫自動車道整備に伴う発生土の受け入れに係り、防災港等を含めた活用の可能性を調査されたい。

令和4年第1回町議会定例会（抜粋）

令和4年第1回定例会が3月7日～17日の11日間の日程で開催された。決議案件2件、人事案件1件、同意案件13件、承認案件2件、条例案件7件、指定管理者の指定2件、規約案件1件、令和3年度補正予算3件、令和4年度予算8件の全39議案、令和4年度予算審査特別委員会をへさみ審議し、すべて原案通り全会一致で承認・可決された。

注目

副町長決定！ 木村 吉弘氏(元総務課長)



岸 重宏 町長

施政方針

行政と町民の役割と責任を分担し、協力しながら「町民参加とオール河津」で町づくりを進めて来た。将来にわたり人口減少や少子高齢化が進み、地域の活力の低下が予想される中で、なお一層の力を合わせた取り組みが必要であり、共創（共に創る）の町づくりにより「持続可能なまち」を目指す。

1. 誰もが安心して暮らせるまちづくり

・ 新型コロナウイルス感染症対策

・ 防災公園の整備促進

・ 各種災害対策

・ 公共施設の長寿命化等

2. 豊かさをみんので創るまちづくり

・ 伊豆縦貫自動車道の早期完成

・ 河津バガテル公園再生

・ 小学校統合後の跡地利用の検討

・ 第1次産業と第3次産業との連携

3. 未来を創る人が育つまちづくり

・ 小学校統合に向けた準備

・ GIGAスクール構想充実のための教育環境整備

・ 子育て支援施設運営整備

・ 子育て支援施設運営整備

人事案件（諮問）

人権擁護委員の推薦

高崎 美智代氏（湯ヶ野）



木村吉弘 副町長

人事案件（同意）

副町長の選任

木村 吉弘氏（谷津）

河津町農業委員会の任命

相馬 圭一氏（天川）

彦山 和利氏（逆川）

板垣 正利氏（川横）

但馬 一範氏（田中）

村木 貞一氏（下峰）

渡邊 芳子氏（大鍋）

後藤 美南子氏（沢田）

鳥澤 正義氏（下峰）

土屋 常平氏（見高入谷）

飯田 隆一氏（谷津）

島崎 孝行氏（見高浜）

承認案件

新型コロナウイルス感染症対策として、専決処分

・ 子育て世帯臨時特別給付金

・ 住民税非課税世帯等臨時特別給付金

・ 住民税非課税世帯等臨時特別給付金

・ 住民税非課税世帯等臨時特別給付金

・ 住民税非課税世帯等臨時特別給付金

条例案件

● 町長等の損害賠償責任の一部免責に関する条例

● 河津町課設置条例の一部を改正する条例

・ 健康福祉課の業務の多様化により健康増進課、福祉介護課に分割する。

● 河津町立小・中学校設置条例の一部を改正する条例

・ 統合小学校開校により新小学校「河津小学校」設置を定める。

指定管理者の指定

・ 峰温泉大噴湯公園 下峰区

・ 見高地区地域振興施設 舟戸の番屋運営組合

補正予算

● 子育て支援施設建設工事費の追加に係る増額補正 ほか

正 ほか

常任委員会

議員月例会

1月14日建設中の伊豆縦貫自動車道（仮称）河津インターチェンジ周辺の視察を行った。

国土交通省中部地方整備局 沼津河川国道事務所 伊豆縦貫自動車道下田推進室 建設専門官の佐藤勉氏から説明を受け、川横の国道414号から小鍋地区まで徒歩で視察を実施した。



佐藤建設専門官から説明を受ける



ランプ橋上

その後、建設中の（仮称）河津トンネル内で今後行われる内部工事の説明を受けた。工事は順調に進んでおり、令和4年度中の開通を目指しているとのことであった。



第1常任委員会

● 2月24日

河津町国民健康保険運営協議会が開催され、国保運営協議会委員4名が出席した。

・人間ドックの受診費用助成額を令和4年度から2万円に増額等

第2常任委員会

● 12月22日

第2回河津町青少年問題協議会が開催され、第2常任委員長が出席した。
・児童生徒の冬休みの過ごし方について等

● 2月10日

河津駅前広場管理運営委員会が書面決議に付され、第2常任委員長が表決した。

● GIGAスクールの取り組み視察

1月14日 西小学校においてGIGAスクールの取り組みを視察した。

教師が電子黒板で説明し、児童は個々のタブレットで意見を述べ、皆で討論し、疑問点をインターネットで調べ、話し合っ
て答えを導くという新しい授業のかたちで今後の可能性を感じる視察となった。



GIGAスクール取組状況（西小学校）



町政を問う

一般質問



災害対策本部運営訓練の様子



えん どう よし のり
遠 藤 嘉 規 議員

動画にて
議会の様子
をご覧頂けます



質問 南海トラフ地震臨時情報の知らせ方は

答え 町の同報無線や防災メールで周知する

質問 南海トラフ地震臨時情報とは何か。発表された際の対応は。

戒・調査終了」は地震発生から最短2時間後に発表。町は、津波浸水想定

全確保された場合は保護者に引き渡す。帰宅及び保護者への引渡ししが可能な児童は、学校で保護。

町長 気象庁が南海トラフの想定震源域で異常を観測した場合に、「南海トラフ地震臨時情報」が発令される。

区域を高年齢者等事前避難対象地域とし、避難に時間を要する要配慮者に限り、1週間避難を継続すべき地域としている。

「巨大地震警戒」↓児童を教室または屋上へ避難誘導、状況に応じて保護者へ引渡す。津波の発生が予想される場合は、学校に留めおく。

防災課長 発表のタイミングは「調査中」は地震発生から5〜30分後、「巨大地震注意・巨大地震警

教育委員会事務局長 各学校と幼稚園の対応「調査中及び巨大地震注意」↓児童は教室に集合、安

質問 災害対策本部運営訓練と地区との連携は

答え 今後、地区との連携を進めていきたい

質問 一昨年より始まった災害対策本部運営訓練の趣旨と、被災時の情報トリアージの重要性。今後の訓練における各地区との連携は。

る目的で実施した。県の危機管理指導監に見てもらい、アドバイスを頂いた。各地区との連携、情報の取扱は大変重要な部分。情報管理、収集後の

情報の伝達・処理・共有を行った。情報トリアージは重要と認識している。緊急性の低い情報は総務班長を中心に各班長で対応を決定し、人命に関わるような緊急性の高い情報は、本部長（町長）の判断を求め、対応を決定する流れで行った。

町長 訓練は災害発生時、対策本部の業務手順の確認、習熟、町や県、自衛隊、消防など関係機関との連携、マスコミ及び住民への情報発進を検証す

情報管理、収集後の情報への扱いは、タブレット端末も活用し共有できる体制をとっている。今後、地区との連携を進めていきたい。

他「大河ドラマと曾我物語について」1件

防災課長

訓練として、

町政を問う

一般質問



おお かわ よし き 議員
大川 良 樹

動画にて
議会の様子が
ご覧頂けます



町内で合宿したチームによる少年野球大会

質問 若年層、交流人口増加施策は

答え 教育旅行、合宿誘致に200万円計上

質問 若年層の交流人口の重要性は。

と考えており、令和4年度予算に教育旅行や合宿誘致などに向け200万円を計上した。

町長 5つの小学校で検討されており、新たな仕組みづくりができるか期待している。

町長 若い世代への継続した教育的な旅行や、体験などの取り組みが特に重要であり必要と思う。

産業振興課長 教育旅行、合宿は観光協会を中心に行っており、修学旅行も来年度は今年度より多くの問い合わせがある。

質問 統合により廃校する校舎を、渋谷区立自然学校として活用する提案はできないか。

質問 若年層の交流人口を増やす施策は。

質問 渋谷区の自然学習を誘致したらどうか。

町長 今後の方向性を決めたうえで検討したい。

町長 いかにか若い世代に河津の魅力伝えていくかが将来的にも重要であ

質問 健康診断の受診率が向上すると

答え 重症化予防や健康寿命の延伸につながる

質問 国保保険者努力支援制度とは。

町長 国保事業だけでなく本人の健康を維持するためにも大変重要なこと、町民の健康増進や健康寿命を延ばす施策として健康事業は大変重要である。

健康福祉課長 対象者への個別通知や未受診者への再通知案内をし、受診率向上に努めている。

健康福祉課長 保険者共通指標と国保固有の指標があり、その指標の取組状況により点数化され算出点数の合計に占める割合に応じ、国の予算内で交付金が交付される制度。

健康福祉課長 早期に生活改善や治療を行うことで、重症化予防や健康寿命の延伸につながる。

また検診結果をもとに保健師や栄養士が説明時に健康栄養相談指導を行い、早期の医療機関受診勧奨等を行っている。

質問 特定健診やその他他検診を受診する、その重要性は。

他「国保ヘルスアップ支援事業について」1件

質問 健診の受診率向上の施策とその成果は。

他「国保ヘルスアップ支援事業について」1件

町政を問う

一般質問



サーモグラフィーを用いた呼びかけ状況



動画にて
議会の様子
をご覧頂けます



わた なべ まさ あき
渡邊昌昭 議員

質問

河津桜まつり開催期間について

答え 2月は河津桜

質問 第32回河津桜まつりはまん延防止措置期間と重なったがどのような対応をしたのか。

町長 これまでで一番きびしい対応が求められた。ガイドラインに沿って対応するとともに特別補助金を支出、ワクチンの3回目接種を前倒し、PCR無料検査のまつり期間

の延長要望をした。

産業振興課長 感染対策ガイドラインに基づいた密にならないようにライブカメラを設置し巡回と呼びかけを実施、笹原公園ではサーモグラフィーを用い呼びかけを行った。

質問 今回の桜まつりは2月1日から2月28日までと去年よりも開催期間

を早めたが経過と今後変更があるのか。

町長 実行委員会で近年開花も早いこともあり開催時期を早めた。

質問

伊豆縦貫自動車道の要望について

答え 役場が窓口として対応する

質問 伊豆縦貫自動車道の下田河津間が令和4年度中に開通する予定と聞いている、開通後は現地事務所等が撤退し、工事により傷んだ箇所の要望はどこにすればよいのか。

町長 これまでも町はその都度国や県に要望や対応をお願ひしてきた。心配な点があれば役場が

窓口となって対応する。

質問 今後天城越えルートへの工事が始まるが工事による石垣の崩壊、変形、トンネル工事による湧き水の減少、日照不足による農作物への影響などが考えられるが住民はどのような対応をとればよいのか。

町長 関係者やその周辺の方々には国による説明会が行われるので疑問点や心配事については特に聞いておくことが大事。

建設課長 説明会に出席しその場で話すことが必要。建設課でも可能な限り対応する。

他「過疎対策集落支援員について」1件

町政を問う

一般質問



わたなべ 渡 邊 議員

動画にて議会の様子がご覧いただけます



都市計画道路予定地区（笹原から）

質問 ブランド認定事業への取り組みは

答え 一定のルールが必要、協議が進めば補助も考える

質問 ブランド認定事業の議論はされたのか。

町長 現在議論はされていない。

質問 観光産業も含め産業の活性化につながる。

ふるさと納税などの利用の魅力にもつながる。町の指導で取り組めないか。

町長 地域ブランドの基準が大事。方法として、認証事業、開発事業など

質問 都市計画道路浜峰線、進捗状況と今後は

答え 田中地区の開発は打ち合わせをして進めたい

質問 道路事業の要趣、概略、経緯は。

町長 昭和三十五年に決定され平成七年に計画道路変更を行い路線名も浜峰線に変更された。未整備区間は区画整理事業を

予定していたが、地元の同意が得られず、組合施工事業を断念した経過がある。主な地権者と折衝を重ねてきたが進展がな

い状況。

質問 地権者は何人ぐらいか。路線変更ができるなら違う考えができた。

町長 都市計画の決定は手続きを踏んだ道路だと思っ

ている。地権者との交渉に当たってきたが理解が得られない状況。

建設課長 地権者数は25から30人。

町長 ブランド認定事業はいろいろな角度から取り組むことができる。商品のなもの、地元産業に関連するもの、一定のルールは必要。団体等の協議の中で立ち上げが進めば補助なども考える。特許庁の地域団体商標の件も議論が進めば町としても考えたい。

質問 ブランド認定事業は町の事業。観光産業、地域産業の活性化につながる。町として認定事業の支援、補助はできないか。

町長 ブランド認定事業は町の事業。観光産業、地域産業の活性化につながる。町として認定事業の支援、補助はできないか。

質問 ブランド認定事業は町の事業。観光産業、地域産業の活性化につながる。町として認定事業の支援、補助はできないか。

町長 ブランド認定事業は町の事業。観光産業、地域産業の活性化につながる。町として認定事業の支援、補助はできないか。

質問 今後田中地区の開発も含め考えているか。

町長 地区役員と今後について打ち合わせをしたと考

えている。

建設課長 定期的に打ち合わせをするとも、総会に時間をいただき説明したい。

他「副町長人事について」、「マイナンバーカード利用について」2件

から『10人』へ

数について、全議員(11人)で協議し、次回選挙では1人削減「10人」を決定した。

特別委員会の経過

令和3年12月議会
「河津町議会議員定数等調査特別委員会」設置

委員長 大川良樹
副委員長 渡邊昌昭
委員11名(全員)

12月17日
第1回特別委員会

・委員(議員)の定数に対する考えを聴取
・調査内容の取りまとめを、令和4年3月議会までにすることを決定

12月27日～1月14日
各委員に課題 意見聴取

(1) 現在議員定数(11名)の利点・欠点について
(2) 常任委員会等の適正人数について
(3) 町民の方の定数などへの意見やその聞き取り人数について
(4) その他、自由意見

削減、増員とそれぞれの立場で意見、考えを出し合い「議員活動が見えない」等厳しい意見が多く、議会と
とで議員自らが律し、議員として、議会として、活動最終的に全会一致で「10人」と決定した。
活動に興味をお持ちいただき、町民の声を聴く「河津
たい。



桑原猛委員

最低限議会の活発化を阻害しない人数を検討した。それよりも町民の皆様の声を町政にいかにかに反映させることを研究していく。



塩田正治委員

7議席位まで減らし、仕事量、報酬を増やし職として成立させれば若い人や女性も挑戦できると思う。現実的ではないかもしれない。



仲里司委員

議会を運営する中で、委員会の構成、予算・決算の審査の実施。各地区、各世代層の意見を取り上げる。定数11人は必要と考える。



稲葉静委員

山間地の多い当町、社会が著しく変化している。多くの住民の声を吸い上げるためには現状で。

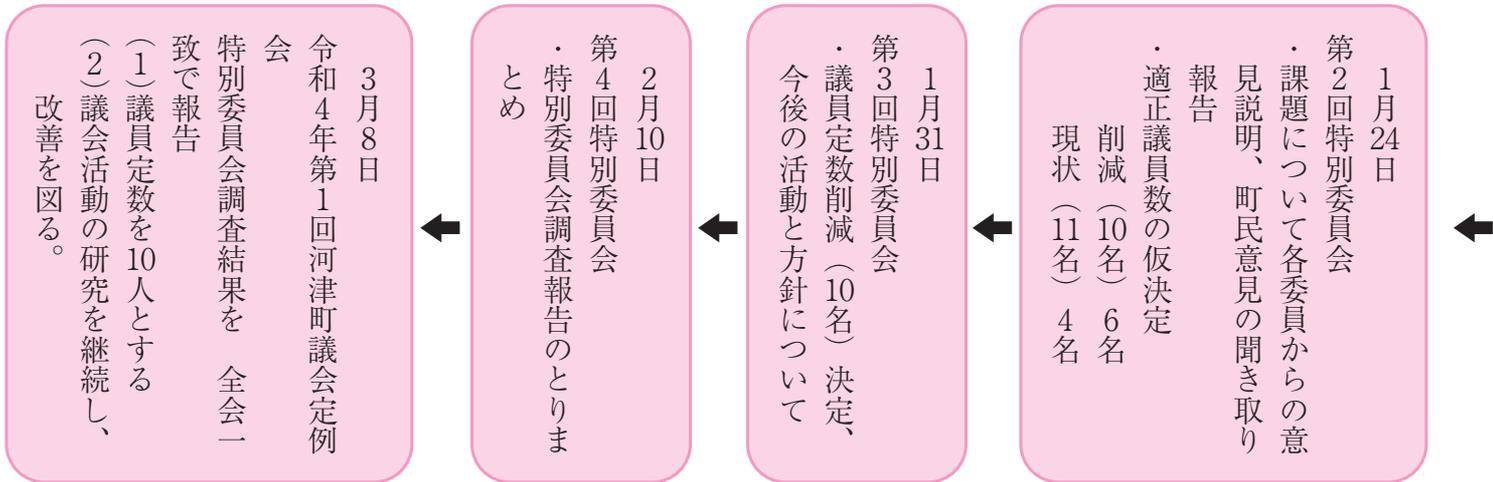


宮崎啓次委員

多種多様な意見、地区の意見を吸い上げる為、各委員会、予算・決算審査の観点から現状維持で。削減は女性議員の挑戦が難しくなる。

議員定数を『11人』

令和3年12月議会にて「河津町議会議員定数等調査特別委員会」を設置し、議員定



渡邊昌昭副委員長

少子高齢化・人口減少が叫ばれている。今こそ定数を削減し、議員が個々のスキルをあげ町民の声に耳を傾けその期待に応えるべきだ。



大川良樹委員長

当初は、議員定数の現状維持、協議を重ね、町民の声を聴き町民との乖離かいりを感じた。

今回議員定数を削減することを見直していくことも確認し、町民の皆様にも町政、議員町議会」に期待していただき



遠藤嘉規委員

町民の声は減らせと現状維持が同程度。議席を減らせば多様性が減る。今後は議会改革と機能強化で町民に身近な議会を目指したい。



上村和正委員

人口減少の中、10名で政策提言、行政監視は可能と判断した。これを機に、新しい議会を創り町民の負託に応える議会改革を進める。



土屋貴委員

新しい酒は、新しい革袋でとの格言がある。今後の10年間の河津町の姿(計画)を決めた。時代の変化を読んだ議会体制の運用を。



渡邊弘委員

人口減少との対比を考えても議員数の削減に取り組むべき。町民の意見は10人でも聞くことはできる。偶数議会で議案採決を明確に。

町民の声！！

本特別委員会では委員一人ひとりが町民に対して議員定数についてインタビューを実施しました。その一部をご紹介します。

現状維持

・定数削減をした場合、町民の意見の吸い上げができるのか。

・議員定数は奇数が良いのでは。

・女性の立場で女性議員が出てほしい。定数はそのまま。

削減

・2人減らすべき、辞めてほしい議員は何人かいる。

・現状の人口、財政を考えると数人減らしても良いのでは。

・意見の多様性も重要と思いますが、町民（特に若者）に興味を持たせ、選んだ責任選ばれた責任を行動に直結していけるくらいの人数が良い。

増員

・多様性が大事な時代だから増やしても良いのでは。

その他

・議員が増えようが減ろうが何も変わらない感じがする。議会、議員のなかで活性化して良いだろうが、町民としては…。

・議員の活動内容がよくわからない。

・活動内容がわからないので定数について判断できない。

町民の声が ↓ 届く議会へ

河津町議会改革調査特別委員会

委員長 遠藤嘉規、副委員長 桑原猛、全委員(議員) 11名にて構成

一部事務組合議会

東河環境センター議会

令和4年2月8日第1回定例議会が開かれた。2件の議案が提出され、いずれも原案通り可決された。

議案第1号 静岡県市町総合事務組合規約の一部を変更する規約について
議案第2号 令和4年度東河環境センター会計予算 歳入歳出の総額をそれぞれ9億3864万9千円とする。し尿処理施設基幹的設備改良事業として、3億8200万円（国庫支出金8300万円、組合債2億4800万円）を含む。

下田メデイカルセンター

議会

令和4年2月16日、2月定例会を下田市敷根の南豆衛生プラントで開き、病院事業会計の令和4年度当初予算、令和3年度補正予算など5議案を可決した。

令和4年度当初予算では、業務予定量として年間患者数を入院3万4310人、外来7万185人に設定。病院事業収益を令和3年度当初比0.5%減の3億7700万円、費用を同1.2%減の3億8400万円、施設整備などにかかる資本的収入を同29.0%増の1億7000万円、支出を同14.1%増3億2200万円とした。資本的収支の大幅増はCT更新など医療機器整備による。

令和3年度補正予算の説明の中で伊豆縦貫自動車道整備にあたり駐車場の一部が道路拡幅用地にかかるとの報告があり、今後駐車台数の変更がないよう整備する。

伊豆斎場組合議会

令和4年2月16日に2

月定例会が開催された。令和3年度4月～1月の火葬件数は736件、下田302件、東伊豆187件、河津96件、南伊豆117件、外34件でした。
議案第2号 改築工事一部変更について渡り廊下、待ち合い棟など変更により348万円の増額を承認した。

議案第3号 令和3年度補正予算は歳入歳出それぞれ3390万円を減額し総額を3億2547万円とし可決した。

議案第4号 令和4年度伊豆斎場組合予算は歳入歳出それぞれ8670万円と定め可決した。



斎場 待合室



斎場 火葬ホール

下田地区消防組合議会

令和4年2月21日定例会が開かれ、規約案件が1件、条例案件が2件、令和3年度補正予算1件、令和4年度予算の5議案が審議され、原案通り承認可決された。

議会開催前には議会議員報告会が開かれ、駿東伊豆消防組合との組合統合についてと消防施設整備事業計画について等報告があった。

事業報告 昨年8月1日～令和4年1月31日まで組合全体での火災発生は12件、救助出動件数は15件。救急出動件数は1791件、搬送人員は1656人、河津町では206人が搬送された。ドクターヘリの要請件数は111件、83人の傷病者が搬送された。また新型コロナウイルス感染症陽性者の救急搬送は14件であった。独居老人の緊急通報システムによる出動件数は11件だった。

議員説明会

町からの要請で議員説明会が開催された。

12月17日

- ①子育て世帯臨時特別給付金事業・・・国の現金5万円、クーポン5万円給付を現金一括10万円給付にするため。

1月14日

- ①長野地区山脇学園所有地取得・・・防災拠点として整備するため。

- ②河津町公共交通システム・・・スクールバス4台購入と自主運行バス、町営バスの利用者の少ない路線の運行廃止を含めた公共交通の再考。

- ③河津バガテル公園の運営・・・民間視点と手法を広く取り入れる公園の活性化計画。



バガテル公園コワーキング施設

- ④新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(県単独事業分)

- ⑤住民税非課税世帯に対する臨時特別交付金・・・住民税非課税世帯及びコロナの影響で家計急変のあった世帯へ10万円を給付。

1月31日

- ①町政懇談会・・・懇談会の内容説明。

- ②河津バガテル公園指定管理者の公募

3月1日

- ①子育て支援施設建設工事の補正概要・・・コロナの影響等による資材価格高騰と設計の見直し等。



子育て支援施設入口(スラブ工法)

- ②新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金・・・感染症対策とプレミアム商品券等の地域経済対策。

私モ一言

NPO法人

「あおぞらビレッジ」

理事長 但馬 靖彦



教員生活二十九年目になりました。これまで、赴任先の子供たちと共に、自然体験活動、福祉交流体験活動を積極的に行ってきたました。体験すること、人とつながり合うことは子供たちの心を輝かせます。

私の子供のころを振り返ると、たくさんのお友達と自然の中で遊び、地域の方にも声をかけられながら生活していました。知らず知らずのうちにたくさんのお話を学んでいたのだと思います。しかし、社会も変化し、子供たちの生活環境も大

きく変わってきました。豊かになった現在だからこそ(子供たちに大事にしてほしい何か)考えることが多くありました。

その思いが、「あおぞらビレッジ」の設立につながりました。

河津には未来を担う子供たちがいる。そして、地域を支えるたくさんの方がいる。子供と大人がもつとつながり、一緒に活動することで、地域がさらに生き生きと輝いていくことと思います。これからも、魅力あふれる河津の「ひと」「自然」をつなぎ、わくわくする活動を進めていきたい。



「外で遊ぼう」会場